

チーム担任制が拓く、 若手教員の未来

陸別町立陸別中学校
教諭 北川 智之



1 具体的な取組

①朝の短時間情報共有

毎朝、数分間の打ち合わせを行い、子どもの様子や連絡事項をチーム全員でリアルタイムに共有・把握する。変化や懸念点も即座に伝えることで早期対応につなげる。



②ベテランとのペア指導・OJT(職場内訓練)

朝の会、帰りの会、給食指導や保護者対応などを経験豊富な教員と一緒に対応し、現場で実践スキルを学ぶ。手本を間近で観察し、直後に具体的な助言を受ける。



③事務作業・校務の役割分担

日誌の確認や通知表作成、提出物の点検や保護者面談などを分散して行い、一人当たりの業務負担を軽減する。浮いた時間を教材研究や子どもとの対話の時間に充てる。



④学級通信の共同作成

学級通信の原稿作成を分担・連名で行い、文面や伝える内容の推敲を通して、保護者への発信力の向上を図る。



2 今後に向けて

- 『任せて見守る』場面の設定→安全な環境で小さな挑戦を重ねることを重要視して成長を促す。
- 校内全体での多角的な見守り体制→多様な相談先をもてる心理的安全性の確保を目指す。
- 若手の強みを生かす相互学習の文化→相互に学び合う姿勢で自己効力感を高める



まとめ

チームで支え合い、若手が
「安心して挑戦」できる環境をつくる。